

まちの日記帳



マッサージでスキンシップ 第1回子育て交流会ぴよぴよクラブ

5/19

3歳未満の子どもを持つ親子を対象に、子育て支援センターと住民福祉課が共催する子育て交流会が、子育て支援センターで行われ、15組の親子が参加しました。

ベビーマッサージインストラクターの播磨美智代さんを講師に招き、マッサージのやり方や効果などについて説明を受け、実際にオイルマッサージの体験をしました。

参加したお母さんからは、「赤ちゃんに手で触れることの大切さを知り、自宅でも続けてやってみたい。」などの感想が聞かれました。



海を育てる植樹活動 — 今年も継続実施 —

5/21

東しゃこたん漁協美国地区女性部（佐藤恵子部長）は、同漁協青年部や浅海部会会員、美しい海づくり協議会の協力を得て、今年も美国小泊地すべり跡地にイタヤカエデ150本の植樹を行いました。参加した12人は、石礫が多く急な斜面に悪戦苦闘しながらも、一本一本丁寧に植え付けました。同女性部の植樹活動は、25年以上前から毎年行われているもので、平成21年12月には北海道社会貢献賞（森を守り緑に親しむ功労者）を受賞しています。



頭と体の体操 いきいきクラブin美国

6/3

介護予防を目的に、町地域包括支援センターが主催する高齢者のための巡回型運動教室「いきいきクラブ」が総合文化センターで行われ、9人が参加しました。今回は、同センター職員が講師となり、腰や膝に負担をかけない姿勢のとり方や自宅でも簡単にできるイス体操、ボールを使った体操などを紹介。

また、認知症予防のため、幼少期や青年期の流行歌や世相を思い出す「頭の体操」なども行われ、会場は時折笑い声が響き、参加者は楽しいひとときを過ごしました。



資源の回復・増大を願って ～サクラマス・ニシン放流～

5/10 5/24 5/26
6/3 6/8

東じゃこたん漁業協同組合（杉山賢代表理事組合長）は、島牧村のサケ・マスふ化場で育成されたサクラマスの幼魚（30g）1万尾と稚魚（2～3g）10万尾をそれぞれ5月10日と26日に余別川に、24日には稚魚20万尾を美国川に放流しました。大きく成長して戻ってくるようお願いを込めて放たれた稚魚は、元気に泳ぎ回る姿を見せました。

また、6月3日と8日には、羽幌町の北海道栽培漁業振興公社から輸送されたニシンの稚魚の放流も行われ、来岸漁港に4万2千尾、美国漁港に6万尾を放流しました。



28人で楽しい見学 リフレッシュ学級「視察研修」

6/10

第2回目のリフレッシュ学級「視察研修」が行われ、28人が参加しました。研修場所は、「円山動物園（札幌市）」と「石屋製菓チョコレートファクトリー」の2カ所で、動物園では、ボランティアガイドの案内による、動物の見方や特徴、園内歴史などについて、分かりやすい説明があり、施設内をゆっくり歩きながら、楽しく見学することができました。

参加者は、普段の生活から少し離れ、心身がリフレッシュされるなど、有意義な時間を過ごしました。



一生懸命歩きました！ びくに・みなと保育所春の遠足

6/16

びくに保育所とみなと保育所合同の春の遠足が行われました。

ほかほか日和の中、3歳以上の園児15人は、黄金岬を目指し、また、3歳未満の園児9人は美国漁港を目指して、お友達と手をつなぎながら一生懸命歩きました。

子どもたちは、黄金岬から見下ろす風景に、ちょっぴり感動した様子で、宝島周辺を運航するグラスボートに手を振るなど、無邪気な姿が見られました。

遠足のあとは、お母さんの手作り弁当をたくさん食べました。

